

猫鷹スキー場—雄国沼—雄国岳—雄子沢

1995. 4/2 快晴 みちのけスキー場 11名 車場修舎

今日は、朝から快晴で絶好のスキーア日だ。この会に入会して、クロスカントリスキーを購入、田島の10KM 豪華休暇村の10KMに参加した。この会は、クロカンが多く、山スキーは、始めてだ。

猫鷹スキー場に車一台残し他の車は、雄子沢の部落に駐車した。11名のうちクロカンのスキー6名、山スキー5名だ。右から二番目のクワットリフト終点が1640Mの台地だ。昨夜五六センチの新雪が積もり、樹木の枝の雪が着き美しい。平均斜度10度位のまばらなブナ林が沼で続いている。単独だったら一気に滑って二十分位で沼に着きそうだが、団体だと何時も転倒したりして時間がかかる。登ったり斜滑降で多きくタンしたりして時間をつぶす。沼は氷結しているがはっきりわかり山川屋も見えて迷う心配は無い。湖畔の山川屋に着くのが遅れた。

行動食などを休憩、記念写真を撮り二班に分かれる。雄子沢の左岸の夏道を滑る4人、雄国山に登り北北東に連なる広い屋根を滑り雄子沢部落をめざす2人。シールを着け登行1人は、クロカンのスキーで南西登行。二十分で頂上に着く。

東に安達太良連峰、北には、吾妻連峰、西には、喜多方の山。その上に、一段と高く飯沼連峰の60度の眺めがすばらしい。広い無点木の緩斜面を滑る。右の1164Mの広い屋根の左側を降り1050地点の杉の植林地に着く。地回を見るとここから地形が複雑だ。以前二、三日滑った人につけかき右に滑り降りる。急斜面の屋根に出た。谷に降りたの屋根を越える。女性二人が苦勞している。

ツツ木のやまを緩く滑った斜面を二、三十メートル滑り降りると
林道らしい道になる。すぐ下には車道が見える。一人が林
道に滑り降りたので私も滑り降りる。荷物をデポして雄子沢
の部落まで歩いて行く。私はここで待つ。雄子沢が沼に流れてくる
地点だ。一時間以上待つとようやく車が来た。夏道を降りた人
も二時間近く待たらしい。

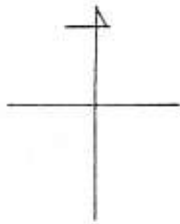
雄子沢部落までは斜度が無く滑り降り林道滑走で時間
がかかりらしい。このコースは、途中で道路に降りた方が楽だ。
(馬場記)

コースタイム

リフト終点 10:10 ~ 10:20 → 山小屋 12:00 ~ 12:30 →
雄子山 13:00 ~ 13:30 → 杉の植林地 14:30 → 道路 16:00



ル—卜圖



1 / 2.5万 · 警梯山

